

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）4月15日号 No. 1292

目次

● 2003年のCIS諸国の経済(上)	1
● エトセトラ	11
キルギスタン・ビジネス・セミナー開催のご案内／11	
世銀のレポートがロシア経済における「集中」を批判／11	
新刊案内『不思議の国ベラルーシ』／11	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	12
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	12

2003年のCIS諸国の経済(上)

はじめに

CIS諸国の2003年の経済データがほぼ出揃ったので、本誌では今回と次回の2回に分けて、CIS統計委員会発表の経済統計データを紹介しつつ、これらのデータを踏まえながら各国の最新の経済情勢についてレビューを行うこととする。本号では、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、CIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン）および南コーカサス諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア）のレビューは次号で扱う予定である。

CIS全般: 成長に力強さが戻る

成長減速の懸念は薄まる 2003年のCIS全体の経済成長率は、2002年の成長率を上回った。CIS全体のGDPの伸び率は7%増（2002年は5.3%増）、鉱工業生産は8%増（同5%増）、固定資本投資は15%増（同9%増）と、それぞれ前年の伸び率を上回っている。しかしながら、農業生産は0.5%の減少（2002年が2%の増加）となった。2003年は天候不順であり、穀物生産が27%もの減少となったことが大きく影響したものと見られる。各国通貨は概ね安定、イ